1. ESET の回避策

ESET 社からの回答に基づいた回避策によって本事象が発生しなくなることを確認しております。 回避策は以下の設定手順を実施ください。

<設定手順>

①ESET を開き、[設定]-[詳細設定]をクリック

		\triangleright	·dd eset home ∨	- 1	
	@ 1>	ノターネット保護			?
☆ ホーム 1 Q コンピューターの検査		Webアクセス保護 有効: 悪意のあるコンテンツを含むWebサイトの検出し	とブロック		٥
C アップデート		電子メールクライアント保護 有効:電子メールクライアント経由で送信されるメール	の検査		۵
● ツール		迷惑メール対策機能 有効:迷惑メールの検出と削除			*
() ヘルプとサポート		フィッシング対策機能 有効:詐欺とフィッシングWebサイトの検出とブロック			\$
-					
		tł	設定のインポート/エクスポート	众 詳細設	定
ライセンスの購入 試用版は30日で期限が	切れます。				

②[WEB とメール]-[SSL/TLS]の既知の証明書リストの[編集]をクリック

(CSOT) INTERNET SECURITY	N	STILLENEL BLIMAE V	
詳細設定	hở	Q,	× 🧿
検出エンジン	SSL/TLS		5
アップデート	SSL/TLSプロトコルフィルタリングを有効にする	×	0
ネットワーク保護	ssL/TLSプロトコルフィルタリングモード	ルール付き自動モード	~
WEBとメール	自動モードでは、SSL/TLSフィルタリングは、Webブラウザや電子メー ンでのみ有効です。アプリケーションまたはサーバー証明書別に動	-ルクライアントなどの自動的に選択さ 作を上書きできます。	れたアプリケーショ
電子メールクライアント保護 Webアクセス保護 フィッシング対策機能	SSL/TLSフィルタリングされたアプリケーションのリスト	編集	0
インターネットバンキング保護	既知の証明書のリスト	編集	0
Parental Control	信頼できるドメインとの通信を除外	×	0
デバイスコントロール	古いプロトコルSSL v2を使用した暗号化通信をブロックする	×	
ツール	ルート証明書		
ユーザーインターフェース	ルート証明書を既知のブラウザに追加する	×	0
通知	証明書の表示	証明書の表示	
プライバシー設定			
	証明書の有効性		1
既定值	- W101 & W.X.	€ОК	キャンセル

③[既知の証明書のリスト]が表示されたら[追加]をクリック

INTERNET SECURITY				D
IEOVITH INTERNET SECURITY	<u>e</u>		Q	× D
既知の証明書のリスト				(?)
0 #	大田寺への行志	ez 181-de av de 181	white	Q
43.00	al merosci i ci	all. 173 Her U.A.Cc. and	TICA	DEM
通加 55 ×1+			インボー	F 1728-F
			OK	+1721
既定值			æ ok	キャンセノ

④[証明書を追加]が表示されたら、証明書のインポート元の「URL」をクリック

(CET) INTERNET SECURITY		×	
証明書を追加		?	
証明書のインボート元:	URL 7711		
証明書名 57日書の発行者			
アクセスアクション	 自動 (信頼済みを許可、不明なものを確認) 許可		
検査アクション	 自動 (SSL/TLSフィルタリングモードによる) 検査 無視 確認 		
	↓ ₃	キャンセル	

⑤[URL から証明書を読み込み]が表示されたら、URL アドレスに[https://www3.suitebank3.finemax.net]を指定 し[OK]をクリック

(eser) INTERNET SECURITY			×
証明書を追加			?
証明書のインポート元: 証明書名	URL ファイル		
証明書の発行者		×	
証明書の表題	URLから証明書を読み込み	(?)	
ゲクセスアクション	URLアドレス: https://ww し () 無現 () 確認	w3.suitebank3.finemax.net	
			キャンセル

⑥証明書のインポート元の[証明書名][証明書の発行元][証明書の表題]の証明書情報を確認できたら、[アクセス アクション:許可]「検査アクション:無視」を選択し「OK」をクリック

	×
CESCI INTERNET SECORITY	X
証明書を追加	(?
証明書のインポート元:	URL 7711
証明書名	https://www3.suitebank3.finemax.net
証明書の発行者	DigiCert SHA2 Extended Validation Server CA
証明書の表題	OID.Unknown=Private Organization, OID.Unknown=JP, SERIALNUMBER=0100-01-(
	 (信頼済みを許可、不明なものを確認) ● 許可 (不明の場合でも) ○ パリック (信頼済みの場合でも) ○ 確認
検査アクション	 ○ 自動 (ssl/TLSフィルタリングモードによる) ○ 検査 ○ 無視 ○ 確認
	L3
	OK キャンセル

⑦既知の証明書リストで以下が確認できたら[OK]をクリック

- ・[www3.suitebank3.finemax.net]の証明書が追加できたこと
- ・[アクセスアクション:許可]になっていること
- ・「検査アクション:無視」になっていること

既知の証明書のリスト 名						×
名前 王明書の発行者 王明書の表類 アクセス 検査 www3.suitebank3.finemax.ne DigiCert SHA2 Extended V OID.Unknown=Private Organization, OID.Unkno 許可 無視 通加 王集 創除 (ソポート エクスポー な	既知の証明書のリスト					?
All 正明音の発出者 正明音の表出 アクレス 校正 www3.suitebank3.finemax.ne DigiCert SHA2 Extended V OID.Unknown=Private Organization, OID.Unkno 許可 無視 通加 画集 削除 インボート エクスポート	<i>17.94</i>	TTTT A D T C H	T mbož W	7647	10.25	Q,
追加 編集 創除 (小ボート エクスポー ↓	としていた。	証明者の発行者 DigiCert SHA2 Extended V	証明者の衣題 OID.Unknown=Private Organization, OID.Unkno	許可	恢直 無視	
島加 編集 制除 ↓ 12/2ポート エクスポー ↓ 1000 まゅうとは						
追加 編集 削除 なびポート エクスポー ト エクスポー						
追加 編集 削除 インボート エクスボー						
追加 編集 削除 インボート エクスボー						
追加 編集 削除 インボート エクスボー						
	追加這軍制除			インポート	エクステ	ポート
			13			
				ОК	キャン	セル

⑧詳細設定が表示されたら「OK」をクリック

			– n x
(CSC) INTERNET SECURITY			
詳細設定		Q,	× ?
検出エンジン	SSL/TLS		
アップデート	SSL/TLSプロトコルフィルタリングを有効にする	×	0
ネットワーク保護	SSL/TLSプロトコルフィルタリングモード	ルール付き自動モード	\sim
WEBとメール O	自動モードでは、SSL/TLSフィルタリングは、Webブラウザや電子メ ンでのみ有効です。アプリケーションまたはサーバー証明書別に重	ールクライアントなどの自動的に選択さ 動作を上書きできます。	れたアプリケーショ
電子メールクライアント保護 Webアクセス保護 フィッシング対策機能 インターネットバンキング保護 Parental Control	SSL/TLSフィルタリングされたアプリケーションのリスト 既知の証明書のリスト 信頼できるドメインとの通信を除外	編集 編集	0 0
デバイスコントロール	古いプロトコルSSL v2を使用した暗号化通信をプロックする	V	
ツール	4 Larmak		
ユーザーインターフェース	ルート証明者		
通知	が「「乳」が含く成れのクラクションロルする	「「「「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」	v
プライバシー設定	an-uevaxu	atten in oracity	
	証明書の有効性		
既定值	ß	€ОК	キャンセル

2. カスペルスキーの回避策

公開されている「カスペルスキー」のサポート情報に基づいた回避策によって本事象が発生しなくなること を確認しております。

回避策は、<u>https://support.kaspersky.com/KIS/2018/ja-JP/157530.htm</u>を実施ください。 また、以下に設定手順を示します。

<設定手順>

①ネットワーク設定より、「信頼するアドレスを選択」。

🔮 カスペルスキー インターネット セキ	ידעב אדי אדעבעב אין איז איזעב איז איזעב איז איזעב איז איזעב איז איזעב איז
← 設定	
プロテクション	 ● 味酸酸化の女がに応じしゅう10c4いに按続をスキャンする ○ 常に暗号化された接続をスキャンする
全般	暗号化された接続のスキャンのエラーが発生した場合:
脅威と除外リスト	スキャンエラーが発生したドメイン
レポートと隔離	信頼するアドレス
ネットワーク設定	信頼するアフリケーション ✓ SSL 2.0プロトコルでの接続をプロックする(推奨)
インターフェイス	SSL 2.0プロトコルにはデータ転送セキュリティに影響する問題が含まれています。
設定の管理	✓ EV証明音を1使用したWebリ1 F パル項 ちれどされた接続を復ちれまする EV証明書のあるWebサイトのSSL接続を復号化しない場合、ウェブ保護、パナー広告対策、Webトラッキ ング防止、危険サイト診断および保護者による管理はこのWebサイトのトラフィックをスキャンしません。これ により保護レベルが低下します。

②ドメイン名の追加を実施。「https://」以降のドメイン部を入力、ステータスが有効であることを確認して、 追加を押下。

暗号化された接続のスキャン	-		×
← ドメイン名の追加			0
ドメイン名:			
www3.suitebank3.finemax.net 例:example.com			
ステ−タス: ● 有効 ○ 無効			
jā ta	+ †	ッシャル	

③信頼するアドレスに追加が完了。

● 暗号化された接続のスキャン	- D ×
信頼するアドレス 製品の次の機能が制限される可能性があります: 断、保護者による管理、Webトラッキング防止、ウ: ル保護、迷惑メール対策	
+ 追加 🖉 編集 × 削除 ドメイン名	ステータス
www3.suitebank3.finemax.net	● 有効
係	キャンセル

- 以上 -